

## 受験対策・関数⑥

右の図で、直線 $l$ は関数 $y = -x + 6$ のグラフです。 $x$ 軸上に点 $A(-1, 0)$ 、点 $B(4, 0)$ を、 $y$ 軸上に点 $C(0, 4)$ を、それぞれとります。また、直線 $l$ 上の $x > 0$ 、 $y > 0$ の部分に点 $P$ をとります。

- ① 2点 $B$ 、 $C$ を通る直線の式は？
- ②  $x$ 軸、 $y$ 軸、直線 $l$ で囲まれた図形の面積は？
- ③  $\triangle ABP$ の面積と $\triangle ACP$ の面積が等しくなるときの点 $P$ の座標は？

